

世々のおやの御かげ忘るな

本居宣長

代々のおやは己が氏神 己が家の神

玉鉾百首の一首。先祖の恩を忘れてはいけない。ご先祖さまは自分たちの氏神、家の神である。常に先祖を敬い感謝をしてこそご先祖様は守つてくださる。

令和となつて思うこと

天皇陛下は、一貫して「譲位」と表現されました。それは全身全霊で務めを果たせなくなつて来られたと言われて以来です。ですが内閣も、マスコミも退位と報じて来ました。まるで悪いことをしたので退かされかのような言葉です。何故退位なのか、それは、マッカーサーの作つた現憲法では「天皇は国政に関する機能をもたない」第四条により、自らの意志を表現しない現憲法に對し、国家の為に、自ら譲位という、現憲法を超える意志を示されたのだった。

現憲法（マッカーサー憲法）

何と陛下自らが、自らの身命を捧げて、現憲法の不条理さを国民に示されたのだ。このように米国がマッカーサーの指令のもとに作つた現憲法は、日本の国体を弱めることに全ての重点を置いていたのである。

令和を迎える平成の今上

天皇陛下最後のお言葉

「今日（こんにち）を持ち天皇としての務めを終えることとなりました。」ただいま国民を代表して安倍内閣総理大臣の述べられた言葉に深く謝意を表します。即位から三十年これまで天皇としての務めを国民への深信頼と敬意をもつて行えたことは幸せなことでした。象徴としての私を受け入れて、支えてくれた国民に心から感謝します。明日（あす）から始まる新しい令和の時代が平和で実りあることを皇后と共に心から願ひ、ここに我が国と世界の人々の安泰と幸せを祈ります。

令和時代誇りある国に

天皇陛下が真に望まれる日本の姿。それは国民が真の平和に目覚め、努力し、世界の中で誇りある国として尊敬される国。

ひきこもり大問題

農林省元次官の熊沢英昭さんが、無職の長男を刺殺した。四十四歳になつても、ひきこもつて親に暴力を振るう、近くの小学校の運動会に「うるせえな ぶつ殺ろすぞ」と騒いでいた。これを聞いた親が、このままでは子供達に危害を加えるだろうと、悩んだ末に、子を刺殺した、何ともやるせない事件である。現在四十歳以上の「ひきこもり」は六十一万人もいるという、不安を抱えて暮らす近隣の人々もいるだろう、今回の四十四歳は中学時代の「いじめ」が原因だという。「いじめ」は許されないが心の弱い人間も増えているし、人のせいにする。いじけた心も多い。何としても働く意欲を起こさせる、支援体制の強化が必要だ。

ひきこもり対策

NPO「KFJ全国ひきこもり家族連合会」厚労省・都道府県、ひきこもり地域支援センター・東京都ひきこもり電話訪問相談センター等

足立区事情

足立区はひきこもりの実態を確認しておりません。児童相談所も足立区立はありません。事件が起きる前に対策急がせます。

